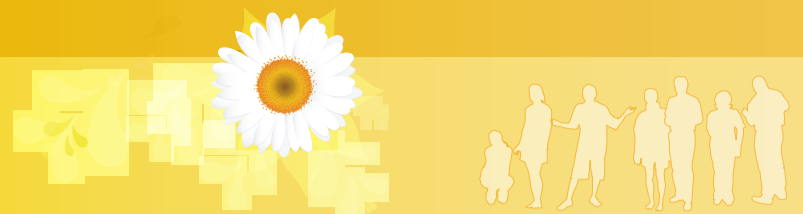


平成27年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小林 たかや

推計人口の見直しと計画変更

問 区の最上位計画と下位計画の推計人口が異なっており、保育園・幼稚園整備等の予算にも影響がでている。それぞれの計画を変更すべき。

答 毎年の予算編成で事務事業を組み替えるのが基本的な考えである。そのため、最上位計画の変更は考えていないが下位の計画は適切に見直す。

待機児童対策について

問 厚生労働省基準による待機児童数は実態との隔たりがあり、入園希望者の誤解を招きかねない。実態に即した区独自の人数を発表すべき。

答 保育の実情を正確に周知することは重要と認識している。今後とも全ての情報を開示していく。

喫煙対策と芳林公園喫煙所

問 ①たばこ税の納税額39億円に対し、対策が不十分。積極的に取り組みを②新たに道路や公共トイレ等に喫煙所を設置する構想は③芳林公園に密閉型の新喫煙所が設置されるが、改修により新たな喫煙者を呼び寄せるのでは。

答 ①たばこ対策関連費用は、必要に応じ予算計上する②道路、公共トイレに設置はしない。公園周辺も含めた屋内喫煙所を整備③設置後も指導員の集中警戒や、警備員を常駐させ喫煙者を分散させる。



公明党議員団

大串 ひろやす

健康長寿のまち千代田へ！

問 「健康長寿のまち千代田」を目指していきたい。健康を規定する要因は、医療システム10%、生活習慣ないし行動様式40%、環境要因20%、人間遺伝学的要因20%である。よって、過度に医療に依存せず、生活習慣又は環境整備による予防型の仕組みが大事である①健康施策推進の基本的な考え方は②予防の観点からは、単に病気の治療にとどまらず、地域住民と一緒に予防や健康増進に取り組む地域医療が必要だが、どう取り組むのか③環境要因からの予防として、高齢者の住まいや歩いて行ける範囲ごとに、小規模な高齢者施設を計画的に整備しては。

答 ①「健康な生活を営むことができるまち」を理念として、「健康千代田21」を策定。健康的な生活習慣及び予防のための環境づくりを柱に、さまざまな健康施策を推進していく。かがやきプラザは、医療と介護の拠点とともに、健康づくりの拠点とし、「健康長寿のまち千代田」を目指していく②地域医療とは、治療にとどまることなく、予防や健康増進を含めて広く捉えることが重要。九段坂病院の医師が高齢者活動センターの嘱託医を務め、介護予防や健康増進等、区民と一緒に地域医療を推進していく③高齢者の予防活動へのアクセスが最も重要。区民に身近な地域で事業を実施し、参加できる仕掛けを工夫していく。

健康を規定する要因

- ①医療 10%
- ②生活習慣や行動要因 50%
- ③環境要因 20%
- ④人間遺伝学的要因 20%

『ラウンドレポート』より

